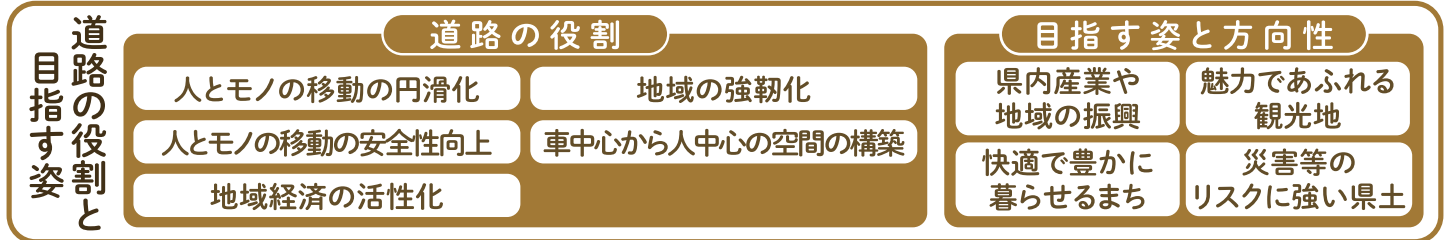


「奈良県道路整備基本計画」の概要

本計画は、「何のために」「どのような」道路を整備するのかを示す『Ⅰ. 整備すべき道路のあり方』と、その道路整備を「どのように」行うのかを示す『Ⅱ. 道路整備の進め方』から構成されています。

Ⅰ. 整備すべき道路のあり方

道路は、地域・まちの骨格をつくり、景観を形成し、日々の暮らしや経済活動等を支える環境を創出する空間です。本県では、道路の役割を果たすために、県民目線を意識しつつ、デジタル技術の活用、交通体系の多様化、災害脆弱性とインフラ老朽化の克服など、新たな社会要請に適切に対応していく必要があります。「県内産業や地域の振興を目指す奈良」、「魅力であふれる観光地を目指す奈良」、「快適で豊かに暮らせるまちを目指す奈良」、「災害等のリスクに強い県土を目指す奈良」の4つの姿を目指します。



幹線道路の整備は、本県にとっての様々な政策課題の解決に寄与します。本県では、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」として重要路線に位置付け、その重点的な整備を推進します。さらに、「企業立地の支援」、「観光振興」、「まちづくり」を3つの明確な目的と定め、効率的かつ効果的な道路整備を推進します。また、近年の大規模自然災害の増加や加速する社会資本の老朽化などへの対応を強化し、道路の安全・安心の確保に取り組むとともに、県民目線を意識した計画的な維持管理を行い、道路利用者に対し快適な道路空間の提供に取り組めます。これらの道路整備に当たっては、条件・配慮事項として4つの視点から検討します。

骨格幹線道路ネットワークの形成

幹線道路の意義と整備状況

幹線道路の整備は、道路交通の円滑性や安全性の向上をもたらす、本県における様々な政策課題の解決に寄与するとともに、県民生活の利便増進や安全・安心の向上を図ります。

骨格幹線道路ネットワークとその考え方

県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置付け、重点的な整備を推進します。

骨格幹線道路ネットワーク実現のための事業展開

骨格幹線道路の姿を形成するために、「路線の線的整備」「結節点の点的整備」「課題箇所面的検討」の3つの枠組みで事業展開を図ります。

奈良県経済の進展に対応した目的志向の道路整備の推進

企業立地を支援する道路整備の推進

企業立地を促進するため、骨格幹線道路と工業団地等とを結ぶ良好なアクセスの確保など、企業立地環境の改善に資する道路整備を進めます。

観光振興に資する道路整備の推進

全国屈指の歴史的遺産や豊かな自然環境など、奈良県が誇る地域資源を活用した観光振興の促進を図ります。

まちづくりに資する道路整備の推進

賑わいのある住みよいまちづくりを進めるために、地域と道路が一体的に機能するような総合的なマネジメントに取り組み、まちづくりに資する道路整備を進めます。

安全・安心を支える道路整備の推進

災害に強い道路の整備

紀伊半島という地形的特性に応じた道路防災機能の向上のため、道路の防災・減災対策を効率的・効果的に進めます。

計画的な維持管理の実施

「ならの道リフレッシュプロジェクト」をはじめ予防保全を前提に最小のライフサイクルコストで計画的な維持管理を進めるとともに、データベースによる効率化、高度化等を図ります。

暮らしを支える交通安全対策

通学路をはじめ身近な生活道路等の交通安全性の向上を図ります。

整備に当たっての条件・配慮事項

風格ある景観形成と環境への配慮

我が国を代表するかけがえのない歴史的風土と調和した景観形成や、「カーボンニュートラル」の実現を目指す等、環境の保全に配慮します。

道路ストックの有効活用と効率的な整備

既存の道路ストックを有効に活用し、人中心の空間づくりや道の駅の活用等、新設、改築から維持、修繕に渡る効率的な道路整備を推進します。

使い易さの追求

多様な道路ユーザーにとっての使い易さを追求していくとともに、多様な人々が安全に安心して暮らせるよう、生活・移動空間におけるバリアフリーやユニバーサルデザインを推進します。

新たなニーズの把握

観光地等における道路交通の実態や、県南部・東部地域の生活拠点を中心とした安全な道路の実態の把握を進めます。